



"To acknowledge the duty that accompanies every right"
Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,
OSAKA, JAPAN

since
1922

標語 YS SLOGANS (2000~2001)

- | | |
|--------|---|
| クラブ会長 | 『私が育てるワイズ 私を育てるワイズ 私とワイズの共育』 |
| 国際会長 | 『Equipped for a Purpose』 |
| アジア会長 | 『常に備えあれ、目的に向かって』
『The new millennium, the new Y'S men』 |
| 西日本区理事 | 『ニューミレニアム、ニューウェイズメン』
『イノベーション(革新)―理想のワイズを求めて―』 |
| 中西部長 | 『What is the ideal Y's?』
『人ワイズに集い、夢限りなし』 |

May, 2001 No.11
Chartered July 20, 1982

クラブ役員 Officers

- | | |
|--------|---------|
| 会長 | : 島中彬 |
| 副会長 | : 川村一夫 |
| 副会長 | : 中村茂高 |
| 書記 | : 山田孝彦 |
| 会計 | : 三浦直之 |
| メネット会長 | : 島中ひろみ |
| 連絡職員 | : 浜野昌保 |

月間強調テーマ：『クラブ・ディフェレンスデー』

((((5月の聖句)))) 【 Biblical Message of the Month 】

空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養つてくださる。あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。あなたがたのうち、誰が思い悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができようか。なぜ、衣服のことで思い悩むのか。野の花がどのように育つか、注意して見なさい。働きもせず、紡ぎもしない。しかし言っておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかつた。今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装つてくださる。

だから「何を食べようか」「何を飲もうか」「何を着ようか」と言って思い悩むな。あなたがたの天の父は、これらのものがみなあなたがたに必要なことをご存じである。

何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。

(マタイによる福音書 6章 26~33節)

((((5月第1例会)))) 【 May Club Meeting 】

◇第1例会：ディフェレンスデー行事

- | | | |
|----------------|---|--|
| 日 時 | : 2001年5月16日(木) 18:30~20:30 | |
| 場 所 | : 大阪YMCA 土佐堀館 3F302号室 | |
| 司会 | : 中村茂高君 | |
| 1. 開会点鐘 | : 島中彬 会長 | |
| 2. ワイズソング | : 一 同 | |
| 3. 聖句朗誦 | : 三浦直之君 | |
| 4. 講師紹介 | : 中村茂高君 | |
| 5. センティナル特別講演会 | テーマ「豊かなぬくもりある多文化共生」
講師：国際交流コーディネーター
仲川順子氏 | |
| 6. 軽食懇談会・質疑応答 | : 一 同 | |
| 7. お誕生日祝い | : 一 同 | |
| 8. ニコニコ献金 | : ドライバー | |
| 9. 報告タイム | : 役員・連絡職員 | |
| 10. 閉会点鐘 | : 島中彬 会長 | |

◇第2例会

- | | |
|-----|-----------------------------|
| 日 時 | : 2001年5月24日(木) 18:30~20:30 |
| 場 所 | : 大阪YMCA 土佐堀館 10F 102号 |

例会当番：4班 (福永、三浦、隅田、山村、川越、坂本)

お誕生日：隅田 3日、川越メネット 16日、

【クラブ統計 Statistics】

2000年4月	種別	第1例会	第2例会	BF ポイント	ニコニコ献金
在籍会員 26名	メン	16名	8名	4月: 切手 494 gr.	4月: 20,500円
例会出席 16名	メネット	8名	0名	現金 5,000円	(YM インド献金へ)
メークアップ 1名	コメット	0名	0名	累計: 切手 8,375 gr.	累計: 155,558円
出席率 65.4% (Attendance Ratio)	ゲスト	5名	0名	現金 60,240円	(除Xmas 献金, オークション、記念献金)
	合計	29名	8名	(明細はP.3 "BF 報告" 参照)	

((((今月の聖句に寄せて))))

英語に“プライオリティー、Priority”と言う言葉があります。私たちは何事をするときも、このプライオリティーをよく考えねばなりません。「今、何を優先的に考え、なすべきか」を決めるることは、その人の人生を左右するものであると言って過言ではありません。

キリストは「空の鳥でも野の花でも自然に育っている。まして天の父はそれよりも価値のある私たち人間を守って下さらないことがあろうか。だから、あくせくと衣食のことを考えるよりも、先ず『人間としてやるべきことは何か』を考えよ」と鋭く問いかけています。

「神の国と神の義」とは、言い換れば「神の教えに従って生きる」ということでしょう。

もう一度今月の聖句を読み直してお考え下さい。

(聖句選、お奨めの言葉：黒田巖之)

((((4月第1例会)))) 【 Report of the April Club Meeting】

(4月 18日(木) 17:30~20:30)

広報委員長・藤原 正巳

4月第1例会は、当日講師の分析交流協会・安部朋子氏、大阪 YMCA 内田弘志氏、元会員・湯浅充章氏など5名のゲストをお迎えし、メン 16名、メネット 8名の出席のもと、春らしく華やいだ雰囲気の中で開催されました。

最初の行事である入会式では、貴多野武次君ご夫妻より力強い入会の宣誓がありました。本年1月より続く4ヶ月連続の入会式は、我がクラブにとって誠に歴史的な快挙であり、会員の皆様と喜びを分かち合いたいと思います。

貴多野武次君ご夫妻のセンティナルクラブにおける今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

晚餐の後、分析交流協会・安部朋子氏による『リーダーシップ・トレーニング』の卓話と実習を行いました。最初に「仕事って何」、「何で仕事をするの」などという簡単なテーマについて、子供にも分かりやすい説明をする課題が出されました。この課題作りを通じて、同氏は私たちが無意識のうちに持っている既成概念を、「準拠枠」という概念で説明され、組織の構成員としての人間の本質につき理解を促されました。

これに基づき組織のリーダーとしての役割、条件について分かりやすく説明を受けました。特にリーダーとしてビジョンを明確に打ち出すことの必要性、組織構成員に自分で対策を考えさせ、その成果を評価すること大切さなど、リーダーとしての適格要件を再認識させられました。

約1時間という時間の中で、必ずしも十分なお話は頂けなかつたかと拝察しておりますが、今回の学びを通じ任意団体としてのワイズメンズクラブの運営とリーダーシップのあり方につきにつき、会員の皆様の理解が多少なりとも深まつたのであれば大きな意義があったと思います。

((((Club Activities))))

At the beginning of the April meeting, Y's men Kensuke Suzuki reported us of his recent happy trip to Hawaii, sharing with us lovely gifts he received from Nuuanu Y's Men's and Women's Club, which reminded us of the warm reception we had received from the club almost two years ago.

The induction ceremony for Mr. & Mrs. Nobuji Kitano was held at the meeting in presence of 29 members, Y's menettes and guests attending. He has become the fourth member to join us during this term.

Welcome Kitano-san to the Osaka Centennial Club!

Following the induction ceremony, Ms Tomoko Abe, associate professor, the Research Institute of the Transactional Analysis, delivered an interested speech on the subject of the "Leadership Training".

She especially emphasized the necessity for working out a clear-cut policy for implementation in an organization like ours and also for making assessment on the result by leaders.

Yen 20,000 was collected for the club's donation fund, and Yen 5,000 plus 494 grams of used stamps were also collected for the brotherhood fund.



((((4月第2例会)))) 【 Report of the April Officers' Meeting】

(4月 25日(木) 18:30~20:30)

書記・山田 孝彦

当日の協議事項は次の通りです。

1. 5月例会プログラム：表記プログラムの通り

ディフェレンス・デイ特別講演会開催についての各自分担を決定。当番は17時30分に集合
①食事・飲み物については50人分を用意、@1,500円にて「ラペ」に依頼済
②ブリテンはディフェレンス・デイ特別号を発行する。
③勧員については、会員の出席状況を見て判断する。

2. 6月例会プログラム：「今期の振り返りと評価の月」

①役員・委員・会員等の活動報告
②センティナルクラブ表彰式
③会員ちょっとスピーチ(谷川寛氏、新会員1名に依頼)

3. クラブ運営関係：

下記事項を確認した。

- ①第4回西日本区大会：7名出席
- ②第4回東日本区大会：2名出席
- ③第5回中西部新旧合同評議会：2名出席
- ④土佐堀 YMCA キックオフ：9名出席
- ⑤米寿を迎えた先輩を祝う集い：5名出席
- ⑥「チャリティーウォーク」中西部ベースで実現に向け継続審議予定

以上



(力強く入会の宣誓をされる貴多野君ご夫妻。一入会式にて)



(お金って何?熱心に語りかける交流分析協会・安部朋子氏)

◇◆◇ お知らせ ◇◆◇

5月の例会は、当クラブのディファレンスデイの行事として、国際交流コーディネーターの仲川順子氏をお招きして、『豊かなぬくもりある多文化共生』と題する特別講演会を開催します。

今、日本には180カ国に及ぶ外国人の人たちが住んでおり、その数は150万人とも170万人とも言われています。

私たちの周囲にも日本語や英語が分からず人たちが定住し、生活しています。今や日本は多民族国家になろうとしていますが、この様な時代の中で私たちがこれら外国人といふに共生し、交流を図っていくべきかという視点からお話を頂く予定です。お友達もお誘い頂き、ディファレンスデイを盛り上げましょう！

とき：5月16日(水) 18:30~20:30

ところ：大阪YMCA(3F) 302号室

参加費：1,000円(軽食を用意しております。)

申込先：大阪センティアルクラブ書記・山田孝彦

FAX：078-822-6057

Eメール：taka/mak@fb3.so-net.ne.jp

その他：定員50人ですので、早めにお申し込み下さい。

((((YMCA ニュース))))

連絡職員・浜野 昌保

★早天祈祷会

日 時：5月18日(金) 7:30~8:30

場 所：大阪YMCA会館 10Fチャペル

証 し：岩坂二基氏(大阪YMCA協力会員)

★大阪YMCA会員大会

日 時：5月26日(土) 15:00~17:00

場 所：大阪YMCA会館 9F903号室

内 容：事業報告、会計報告、常議員選出、会員表彰、会員交流会他

その他：維持会員(協力会員3年以上)の方々が出席の有資格会員です。協力会員の方々の傍聴が可能ですので、ご希望の方はお申し出下さい。

★センティアルクラブ会員の皆様へのお願い。

4月から誕生致しました土佐堀YMCAでは、旧来に増して活発な会員活動を展開するべくスタートを切りました。同時に土佐堀YMCA運営委員会を発足させ、会員の皆様の声を伺える場として、会員活動のあり方を検討して参ります。

その運営委員として、センティアルクラブから松浦孝次さんに加わっていただきました。会員の代表として、またYMCAとセンティアルクラブとのパイプ役として、ご活躍を期待しております。クラブとして、また会員として、松浦さんへのバックアップをよろしくお願い致します。

((((IBC ニュース))))

IBC・DBC委員長 谷川 寛

★IBCクラブ便り

ハワイ・ヌアヌクラブ会員で次期ハワイ区理事のフィリス・サカネ、Phyllis Sakaneさんが3月2日にラスベガスで結婚されました。

サカネさんは、勤務先・ハワイ日産の販促行事の一環として昨年夏に来日され、京都で我がクラブの会員と懇親の機会を持たれました。しとやかで気品のあるお人柄はつとに知られた方です。今後益々のご多幸・ご発展を祈ります。

(注記)

谷川寛君は、アジアYMCA同盟プレジデントとして、アジアはいに及ばず世界各地に出張され、世界のYMCA運動の発展に尽力されています。

YMCAの動向はワイスメンにとっても大きな関心事でありますので、6月の例会では同君より最新のYMCAニュースをお問い合わせする機会を作る予定です。ご期待下さい。

(藤原記)

((((4月 BF ニュース))))

[Report of the Brotherhood Fund in April]

BF委員長・隅田 保

◇切手提供者：

黒田君、鈴木君、藤原君、福永君、谷川寛君、三浦君、山田君、田中君、隅田君、松浦君、中村隆君

今月の殊勲賞 山田君(230g)

◇現金提供者：山田君、中村隆君、谷川寛君

*切手は3月で締切りました。合計6kgでした。

また、現金は4月分まで合計60,490円となりました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

THE OSAKA CENTENNIAL

♪♪♪ ニコニコ・メッセージ ♪♪♪

【 Messages from the Club Members 】

《ゲストからのメッセージ》

○今日は会でお話させていただき幸せに思います。メンバーの皆さんが真剣に参加して頂いたこと、印象深かったです。センティナルのビジョンがより多くの人に伝わり、より活発なクラブに成長されることを心よりお祈り申し上げます。
(安部 朋子)

○久し振りにセンティナルの例会に参加できてとても嬉しうございました。元気で父が出席できるのが感謝です。
(東京クラブメネット・上原 玉音)

○大阪・済州青少年演奏会に多大なるご支援を頂き感謝致します。元連絡主事と間違えられる程センティナルに馴染んでいる中西部連絡主事の内田でした。
(内田 弘志)

○久し振りのセンティナルの例会に参加できて、ハッピーな気分になっています。故郷(ふるさと)に帰ってきた気分です。
(湯浅 充章)

○今日は畠中会長の紹介で初めてワイスに参加させて頂きました。一人一人の個性はバラバラでも、まとまるのが良い組織ですね。会長がいかにもいいかげんにやってきたかと最後に言われましたが、だからうまく行っているんだと感じました。
(樋口 東光)

《“ごぶさた”メッセージ》

○いつもお世話になっております。名簿は訂正箇所はありません。よろしくお願ひします。ネットは自治会で忙しくなりますので、暫くの間お休みさせて頂きます。
(池永 洋宣)

《会員からのメッセージ》

○洋服のリフォームの店をひょんなことから始め、急に生活が変わりました。なるべく時間を都合つけ、活動に参加させて頂きたいと思っています。
(阿部 道子)

○最近、36年間務めていました損害保険会社を定年になりました。未だピンときませんが、そんな年になったのかと実感しています。浪人生活ですが、随分苦労をかけた妻とゆっくり小旅行でもします。
(川村 一夫)

○鈴木謙介さんの紹介で、夫妻揃って入会させて頂きました。教える大学の授業も始まったので、心新たに出発する時です。これからどうぞよろしくお願ひします。食事をおいしく頂戴しました。勉強させて頂きました。有難うございます。
(貴多野乃武次・英子)

○貴多野ご夫妻の入会を歓迎致します。交流分析のお話、大変興味深く聞きました。
(黒田 嶽之)

○今日は趣の変わったテーブルセッティングで、新しい方にもお目にかかる嬉しいです。
(坂本 千春)

○貴多野乃武次兄の入会式、厳粛に行われて紹介者として光榮です。ネットさんも同伴されて喜ばしい。
(鈴木 謙介)

○今月も新会員のご入会心よりお喜び申し上げます。
(田中 積二)

○また新しい友が参加して下さって感謝です。

(谷川 寛)

○貴多野ご夫妻ご入会おめでとうございます。外部講師を迎えての例会、会場の形が変わっているだけでも雰囲気が変わっていいですね。安部さん交流分析のお話有難うございました。
(中村 茂高)

○4月16日にNZのクラーク首相(女性)が娘の高校にいらしてスピーチをして頂きました。娘は首相とご主人の接待役を頂き、緊張しながらも楽しんでおりました。素晴らしい経験だったと思います。
(中村 幸枝)

○今月より“ゲスト”ではなく連絡職員として加えて頂きました。早くメンバーの方々のお顔とお名前を覚えていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。
(浜野 昌保)

○坂本千春さんが出席下さって嬉しい限りです。湯浅さんも帰って頂いてご同慶の至りです。
(福永 嘉彦・滋子)

○貴多野さんの入会式、坂本さんの特別メネット会員での復帰、湯浅さんの久し振りのご出席と、嬉しいことの重なった例会でした。安部様によるリーダーシップトレーニングのお話も大変興味深く拝聴させて頂きました。もう少し時間があれば更に面白いお話を聞けたのではと思いました。
(藤原 正巳)

○新しい年度に入って世の中が多少明るさと希望が見える様に思います。センティナルも活気に溢れています。親しく愛情の溢れたクラブライフを謳歌したいですね。私はそのための努力を払います。
(松浦 孝次)

○貴多野武次様のご入会おめでとうございます。今日は沢山のゲストを迎え賑やかな例会でした。リーダーシップということで3つの質問がありました。難しいでした。
(松浦 和子)

○・貴多野さん、入会おめでとうございます。
・湯浅さんは是非カムバックを!
・阿部朋子さんのリーダー論、興味深く聞かせてもらいました。
(三浦 直之)

○毎月入会式が行われ、センティナルの活性を感じることができます。嬉しいですね。
(山田 孝彦)

○貴多野さんご入会おめでとう。湯浅さん久し振りですね、お互いに年も増しました。再入会をお待ちしております。

“二人旅さくらさくらとなりにけり”
(山村 幸明)

○今日は初めて嫁いだ娘のところに行ってきました。少し興奮気味です。
(山村 利子)

oo

《《《《 主な行事予定 》》》》

◇なかのしまクラブチャリティーコンサート

日 時：2001年5月25日(金) 18:30～

場 所：箕面メープリホール・小ホール

◇西日本区大会

日 時：2001年6月2日(土)～3日(日)

場 所：鹿児島市市民文化ホール、ほか

2001. 4

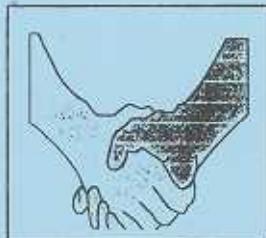
大阪センテニアル

ディファレンスティ

国際ボランティア年に求められる・・・

広・が・れ・ワイズ！

広・が・れ・市民活動！



・・・ゆたかなぬくもりある多文化共生・・・

今、日本には180カ国におよぶ外国の人たちが居ます。その数は150万とも170万とも言われています。今や多民族国家になろうとしている現状を、私たちはまだその実態を知らないでいます。はなやかな活動が主流だった「国際交流」も、ここ数年大きく変わろうとしています。日本語や英語がまったくわからない人たちが地域に定住し、家族で生活しています。今年、国際ボランティア年を迎える、「国際交流」の新たな市民活動が求められています。

在日外国人の支援をするなど、グローバルな視点でボランティア活動の拠点づくりをめざす、国際交流コーディネーターの仲川順子さんを招き、今の時代に合った「国際交流」をみなさんと一緒に考えます。

とき 5月16日(水) 18:30~20:30

但し、受付時間は、午後6時からいたします。

ところ 大阪YMCA(3F) 302会議室

大阪市西区土佐堀1-5-6 TEL 06-6441-0893

(地下鉄四ツ橋線「肥後橋」駅下車3番出口から、西へ徒歩7分)

定員 50人(先着順)

参加費 1,000円(当日、会場でいただきます)

*軽食をご用意しています。

講師 仲川順子・国際交流コーディネーター/ならNPOプラザ代表

(ワコイー) 89年から96年まで7年間、なら・シルクロード博記念国際交流財

団で、国際コーディネーターとして活躍。96年秋、仕事を通じて出会った市民団体

と開発教育地域セミナーを開催。97年1月「地球市民フォーラムなら」を

発足し、国際協力や海外援助の理解を広げる中で、99年、NPOの交流拠点「NPO

プラザふなはし」を奈良市内に開設。今年1月移転し、旧東大寺学園の校舎にある。

申込先 5月13日までにFAXかEメールで、大阪センテニアル 山田孝彦へ。

FAX 078-822-6057 Eメール/taka-mak@fb3.so-net.ne.jp